



介護支援専門員 協会ニュース

第4号

令和7年3月発行

発行所：一般社団法人 徳島県介護支援専門員協会

徳島市末広2丁目1番80号 ☎088-678-4200 <https://cma-tokushima.com/>

挨拶

徳島県の高齢者福祉における介護支援専門員協会の役割

一般社団法人 徳島県介護支援専門員協会 副理事長 中 健太郎



日本の高齢者人口は、2043年（令和25年）に3,953万人でピークを迎えると推計されています。しかしながら本県においては、すでに高齢者人口はピークを迎え、高齢化率は35.9%（令和7年1月1日現在）と全国より20年ほど高齢化が進んでいる【高齢化先進県】となっています。その中で、高齢者福祉の中核を担う介護支援専門員の存在意義と役割は一層重要となります。高齢者本人や家族に対する支援は勿論のことながら、行政が行う各種福祉政策や介護保険事業計画においても、介護支援専門員の専門性を活かした協働が必要です。また、福祉政策等だけでなく、防災や大規模災害時における役割も年々増加しており、特に本県は、今後30年の発生確率が80%に引き上げられた、南海トラフ地震対策が急務となっています。各市町村主体で作成される避難行動要支援者の個別避難計画においても介護支援専門員の占める役割は非常に大きなものとなっています。

以上のようなことから、徳島県介護支援専門員協会は、高齢者のケアマネジメントだけでなく、多岐にわたる介護支援専門員の職務のバックアップ並びに資質向上のための活動を行っております。特に各支部活動においては、研修会だけでなく相談会や情報交換会などの開催を積極的に行っており、また、行政と現場の介護支援専門員の橋渡し役となるよう引き続き活動してまいります。

今後とも協会運営に対してのご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

挨拶

ケアマネジャーのこれからの展望

一般社団法人 日本介護支援専門員協会 会長 柴口 里則



徳島県介護支援専門員協会の会員の皆様におかれましては、平素より当協会の活動に対し、ご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

さて、昨年は、厚生労働省において「ケアマネジメントに係る諸課題に関する検討会」が設置され、12月には中間とりまとめが行われました。同検討会では、介護支援専門員の業務の在り方と主任介護支援専門員の役割、また人材確保・定着に向けた対策等について議論され、介護支援専門員によるケアマネジメントの重要性が再認識されました。しかしながら介護保険制度開始から25年が経ち、介護支援専門員を取り巻く環境は高齢者の医療ニーズの高まりや、世帯が抱える課題の複雑化・複合化により様々な問題に直面しています。このような状況の中で、「介護支援専門員のなり手不足」は深刻な状況に陥っており、喫緊の課題とされています。

当協会は、介護支援専門員の人材確保・定着等に向けて、やりがいと誇りをもって業務に邁進できる環境づくりを進めるとともに、未来を担う若い世代の方々に魅力のある職業として目指していただけるよう取り組んでまいります。また、今後は、次期介護保険制度改革・介護報酬改定に向けて、国の審議会等で議論が進められています。当協会より提言をするためには、その「根拠」となるデータが重要となります。現場の声を届けるためにも、当協会会員の皆様等に向けて、アンケート調査を実施する際には、ぜひご協力をお願いします。

最後に、当協会は、本年11月に設立20周年を迎えます。これもひとえに徳島県介護支援専門員協会の皆様をはじめ、全国の介護支援専門員、関係者の皆様のご支援のおかげです。この場をお借りして感謝申し上げます。引き続き、全員参加型の組織として、介護支援専門員の専門性の確立やさらなる地位向上に向けて活動してまいります。

※ご案内※ 令和7年11月1日(土)、2日(日)に、東京国際フォーラム(有楽町)にて、「第19回20周年記念全国大会」を開催いたします。詳細は当協会ホームページにて随時掲載いたしますので、ぜひご覧ください。

一般社団法人 徳島県介護支援専門員協会 令和6年度 定時総会

令和6年6月15日(土)13時から、徳島グランヴィリオホテル 1階グランヴィリオホールにて令和6年度一般社団法人徳島県介護支援専門員協会定時総会が開催されました。

開催に当たり、一般社団法人徳島県介護支援専門員協会 山口浩志理事長が挨拶し、続いて最高顧問の武久洋三先生にご挨拶を頂きました。

総会の出席者は委任状提出者を含め229名で、審議は山口浩志氏の議長により円滑な議事進行が図られました。

議事は、第一号議案「令和5年度事業及び収支決算報告並びに監査報告」、第2号議案「令和6年度事業計画(案)及び収支予算(案)」、第3号議案「定款の変更(案)について」、第4号議案「役員改選に伴う選任(案)について」など資料に沿って事務局、担当理事及び幹事からの報告に基づき審議が行なわれ、会員の賛成多数により全て原案のとおり可決承認されました。

その後休憩をはさみ、理事・監事の交代に伴う新任、退任の挨拶が行われ、全ての審議を終え散会しました。



(定時総会)

記念講演 「適切なケアマネジメント手法」の概要と活用場面

株式会社日本総合研究所 創発戦略センター部長／エグゼクティブマネジャー 斎木大氏による「適切なケアマネジメント手法」の概要と活用場面について講演がありました。

適切なケアマネジメント手法の目的は、介護保険制度が目指す利用者の「自立支援」の理念を実現することにあります。その実現の要となる介護支援専門員にはケアマネジメントの質の向上が期待されており、介護保険制度創設から今日までの様々な知見を体系化し共通された実践知として整理したものが「適切なケアマネジメント手法」となります。

講演では理論だけでなく実践としての話が沢山あり、まずは自分の視点を振り返る目的や自己点検の意味として使ってみる。そのことで自分の支援の偏りや不足点を知ることができ、支援のばらつきが解消され結果としてケアマネジメントの質の向上に繋がる。ケアマネジャーが想定しない支援は必要性が検討されにくく、支援の抜けや漏れに繋がってしまうという話がありました。

「適切なケアマネジメント手法」はYouTube動画で配信されており、斎木氏が分かりやすく話してくれています。講演でも流暢に、しかしながら堅苦しくなく現場のケアマネジャー目線で話をしてくれました。まずはこの「適ケア」を知って使うことが第1歩だという話がありました。講演は94名の参加があり盛況の内に閉会しました。



(日本総研 斎木氏による講演)

令和6年度特別セミナー開催報告

徳島県介護支援専門員協会 副理事長 湯浅雅志

令和6年10月12日、徳島グランヴィリオホテルにて、「福祉用具サービス」をテーマにした「令和6年度特別セミナー」を開催しました。今回のセミナーには、介護支援専門員をはじめ、介護サービス事業所、医療・福祉関係者、自治体職員など、定員を超える120名の方々が参加しました。

私たち介護支援専門員にとって、福祉用具サービスは日常的に取り扱う重要な分野です。介護保険制度における福祉用具サービスは、要介護高齢者等の自立支援と重度化防止において大きな役割を果たしています。特に、令和6年度の介護保険制度の改定では、一部福祉用具の貸与と販売に選択制が導入されるなど、大きな変革がされました。また、令和4年からは「福祉用具貸与・販売種目のあり方検討会」が設置され、今後の福祉用具サービスの方向性が議論されています。これらの変化に対応するためにも、私たちが福祉用具サービスを適切にマネジメントすることが求められます。

セミナーの内容について

本セミナーは、2部構成で開催されました。

第1部では、介護保険制度における福祉用具貸与・販売種目のあり方検討会委員であり、日本介護支援専門員協会副会長の七種秀樹氏をお迎えし、「福祉用具サービスの適切なマネジメントのあり方」をテーマに講演いただきました。七種氏は、改正の背景や重要なポイントをわかりやすく解説し、介護支援専門員のあるべき姿や介護サービス事業所などの役割、そして最新の情報や今後の見通しなど、大きな流れから日々私たち介護支援専門員のやるべきことなどの具体的な実践方法についても触れ、参加者にとって非常に有益な学びの場となりました。

第2部では、本会の特別理事でもある、徳島県理学療法士会会长の鶴春夫氏に「ICF(国際障害分類)の視点に基づくケアマネジメントと福祉用具の活用」をテーマに講演いただきました。鶴氏は、ICFを活用したケアプランの作成方法や福祉用具の活用方法について実践的なアドバイスを提供してくださり、参加者は具体的な事例を通じて理解を深めることができました。

特に、福祉用具を通じた重度化防止と自立支援に向けた取り組みが強調され、私たちの業務にどのように役立つかを考える内容でした。

参加者の声

参加された皆様からは、アンケートで99%が「大変良かった」「良かった」と回答し、非常に高い評価をいただきました。具体的には、介護支援専門員から「改正内容がわかりやすかった」「ケアプラン作成時に役立つ知識を得られた」といった声が多く寄せられました。また、他のサービス事業所からも「福祉用具選定における介護支援専門員の視点が学べた」「具体的な事例を業務に活かせる」との意見があり、実務に役立つ内容だったとのことです。

まとめ

今回のセミナーを通じて、介護支援専門員としての知識やスキルを深め、福祉用具サービスに対する理解を一層深めていただけたのではないかと感じています。今後も、福祉用具サービスに関する最新情報を提供し、皆様の実務に役立つ学びの場を提供していきたいと思います。

今後とも、介護支援専門員としての専門性を高めるために、引き続き積極的な学びをお願い申し上げます。



(日本介護支援専門員協会副会長 七種秀樹氏)



(徳島県理学療法士協会会长 鶴春夫氏)

各支部紹介



【東部支部】徳島市(川内・応神除く)・勝浦町・上勝町・佐那河内村・石井町・神山町

東部支部の今年度の活動として、10月4日に認知症研修会＆交流会を開催。「認知症の方に関わるフォーマル・インフォーマルな支援を行っている事業所の情報を得る事ができた。」「参加された事業所同士の交流や情報交換の機会にもなった。」と好評でした。

10月から12月にかけては、3回に亘る適切なケアマネジメント手法、基本ケア実践研修会を開催。2月26日に開催した「駆け込み寺」では、運営指導について、中講師の講義や実際に運営指導を終えた事業所の生の声を聞き、質疑応答も大いに盛り上りました。

これからも、できるだけ、地域のケアマネジャーの声を聴くことを肝に活動を続けて参りますので皆様も是非、一緒に取り組み、協会活動にご参加ください。



(認知症研修会＆交流会)



(ケアマネ駆け込み寺)



【南部支部】小松島市・阿南市・那賀町・牟岐町・美波町・海陽町

南部支部は、小松島市・阿南市・那賀町・美波町・牟岐町・海陽町の二市四町からなる広大な面積を有する地域です。高齢化率は一部で50%を超えており、社会的共同生活を維持することが限界に近づきつつある『限界集落』も数多く存在します。このような地域において活躍する介護支援専門員同士が顔の見える関係性を築き、業務上の悩みや困りごとを気軽に相談し合えるよう定期的にオープン相談会や研修会を開催しています。そして、令和6年度は支部として初となる「適切なケアマネジメント手法基本ケア実践研修」を主催しました。今後も、経験・話題共に豊富な支部役員を中心に会員のニーズを踏まえた取り組みを企画・開催して参ります。



(居宅介護支援経過の書き方研修PARTII)



(適切なケアマネジメント手法実践研修)

各支部紹介



【西部支部】吉野川市・阿波市・美馬市・三好市・つるぎ町・東みよし町

今年度、西部支部では「適切なケアマネジメント手法伝達研修会」を3回に分けて開催しました。以前から適ケア研修に興味を持たれ、学ぶことを望まれていた西部圏域のケアマネさんには、身近で受講できる待望の研修会となりました。基本的ケアから取り組んだ本研修会では、不足していたアセスメントの視点や、偏りがあった視点に気づくことができたほか、あらたな支援の方策に結び付いたケースもあり、受講者の皆さんからは好評をいただくことができました。悪天候により延期を余儀なくされる回もあり、アクシデントにも見舞われましたが、支部役員一同の尽力によりおかげさまで計画した研修を終了できたことについて、あらためてお礼申し上げます。



(適切なケアマネジメント手法伝達研修会)



【北部支部】徳島市(川内・応神)・鳴門市・松茂町・北島町・藍住町・板野町・上板町

北部支部では、介護支援専門員のスキルアップや地域での仲間づくりを通して、つながりが広がることを目指して活動に取り組んでいます。今年度は適切なケアマネジメント手法を研修要綱に沿って3回にわたり開催しています。各自の事例を持参しながら、現場実践を繰り返し、振り返りながらアセスメントの深堀りや、自分にはどんな傾向があるのかを深めることができました。



(適切なケアマネジメント研修)

また、多職種交流会も昨年に引き続き企画し、北部地区の通所・訪問系サービスを中心に各事業所のPRにたくさん来てください、北部地域の介護支援専門員と顔の見える関係を作ることができました。

来年度以降も、会員の声に耳を傾け、その声に応えることができるような支部活動を行っていきたいと思います。



(多職種交流会集合写真)



(交流会の風景)

令和6年度 一般社団法人 徳島県介護支援専門員協会 常置委員会

【総務・組織委員会】 委員長 伊庭 利光

総務・組織委員会では協会事務局や支部活動に対する助言など後方支援を行います。また、研修企画や会員サービスの向上など相談窓口としての機能も担います。

【法定研修運営委員会】 委員長 黒田 玲子

今年度より新設された委員会で、主に主任ケアマネ研修、主任ケアマネ更新研修の運営を担当しています。主に事例のチェックや代表事例の選定を行っています。

【倫理委員会】 委員長 松本 隆子

倫理委員会は、協会に対するクレーム等や各委員会の皆さんのが安心して活動が行えるようにサポートをさせて頂く委員会になります。

今後も、会員の皆さんや委員の方々が、協会の活動に参加しやすい環境が継続出来ますように支援をさせて頂きます。

【広報委員会】 委員長 福本 誠司

①協会ニュースの発行 ②SNS(協会Facebook)の管理 ③研修時のオンラインや電子機器関係のサポート等を行っています。

【生涯学習委員会】 委員長 荒岡 晶子

現在担当副理事長を筆頭として、委員は9名で活動しています。介護支援専門員協会の研修について企画、運営しています。今年度は特別セミナーを皮切りに、適切なケアマネジメント手法基本ケアの格支部のサポート、適切なケアマネジメント手法疾患別ケア、医療サポート、主任ケアマネファローアップ研修、日本協会伝達研修(小規模多機能、包括、居宅介護、グループホーム)、主任指導力向上研修、研究大会と多くの企画を協力して行っています。

適切なケアマネジメント基本ケアは東部、北部、南部、西部の支部が3回にわたり支部活動として共通の学びが行えています。初めて適切なケアマネジメントを学ぶ方もいましたが共通の学びが行えています。

適切なケアマネジメントの疾患別ケアについては医療サポートと抱き合せで開催し、大きな学びを得ています。主任指導力向上研修も事例を用いて主任としても力をつける学びの場となっています。日本介護支援専門員協会伝達研修も幅広いケアマネの領域にわたり実際の協会員の伝達により学ぶ機会となっています。

次年度につきましても学びの場となる研修を多数企画したいと思っています。



(日本協会 居宅介護支援事業所部会手引き研修参加者による伝達研修の様子 [オンライン研修])



([医療サポート介護支援専門員養成研修]
小川病院 院長 阿川 昌仁先生講演)

令和6年度 一般社団法人 徳島県介護支援専門員協会委員会名簿(常置委員会)

【支部総合相談担当】			【倫理委員会】		
氏名	役職	所属先	氏名	役職	所属先
中 健太郎		セントラル介護経営事務所	中 健太郎	担当副理事長	セントラル介護経営事務所
【総務・組織委員会】					
氏名	役職	所属先	位頭 薫	委員	ケアプランセンターゆいまーる
湯浅 雅志	担当副理事長	那賀町地域包括支援センター	中東 勢治	委員	社会福祉法人白寿会 白寿会西部
伊庭 利光	委員長	社会医療法人芳越会 介護施設事業部	橋本 美香	委員	徳島県看護協会 指定居宅介護支援事業所徳島
久世 光洋	副委員長	介護老人福祉施設ヴィラ羽ノ浦	湯浅 雅志	委員	那賀町地域包括支援センター
笛賀美代子	委員	四国大学看護学部			
前川沙緒里	委員	医療法人平成博愛会 博愛記念病院			
岸田 委子	委員	どなり指定居宅介護支援事業所			
大西 充記	委員	心和会在宅介護支援センター悠和			
若木 純子	委員	介護支援サービス阿南市社協			
三好みゆき	委員	藍寿苑指定居宅介護支援事業所			
山本 智美	委員	穂波園指定居宅介護支援事業所			
【法定研修運営委員会】					
氏名	役職	所属先	氏名	役職	所属先
橋本 美香	担当副理事長	徳島県看護協会 指定居宅介護支援事業所徳島	中東 勢治	担当副理事長	社会福祉法人白寿会 白寿会西部
黒田 玲子	委員長	医療法人緑会 あい愛介護相談室	福本 誠司	委員長	特定非営利活動法人どりーまぁサービス
河野 竹美	副委員長	すだちの園指定居宅介護支援事業所	四宮 正貴	副委員長	介護老人保健施設ライフ慈友館
光田奈津子	副委員長	昂指定居宅介護支援事業所	佐藤 稔太	委員	白寿会在宅介護支援センター
黒田 景子	委員	医療法人平成博愛会 博愛記念病院	乗原 貴司	委員	たまき青空居宅介護支援事業所
井上富久美	委員	ケアプランセンターゆいまーる	五島 美紀	委員	三好市社会福祉協議会
奥村 滋子	委員	在宅介護支援センターてらさわ	小林 利恵	委員	由岐町在宅介護支援センター
石田 直子	委員	徳島県看護協会 指定居宅介護支援事業所徳島	奥田 和也	委員	医療法人緑会 あい愛介護相談室
中川 陽子	委員	マンナ在宅介護支援ミルトス			
【生涯学習委員会】					
氏名	役職	所属先	氏名	役職	所属先
位頭 薫	担当副理事長	ケアプランセンターゆいまーる	荒岡 晶子	委員長	合同会社はちどり
四宮 明子	副委員長	梼居宅介護支援事業所	荻田 靖子	委員	徳島市医師会居宅介護サービスセンター
東山 祐陽	委員	ひがしやま歯科医院	宮繁知華子	委員	ケアプランセンターゆいまーる
黒下 聰美	委員	白寿会西部在宅介護支援センター	中山 雅子	委員	咲くら指定居宅介護支援事業所
福原亜紀子	委員	村山内科指定居宅介護支援事業所	佐藤 良江	委員	小松島市在宅介護支援センターすだち



令和6年度 一般社団法人 徳島県介護支援専門員協会 特別委員会

【災害対策委員会】 委員長 伊庭 利光

県内では災害支援ケアマネジャー養成研修修了者を年々、着実に増員できています。また、フォローアップ研修でスキルの維持、向上が図られています。

【講師派遣養成委員会】 委員長 黒田 玲子

今年度から新設された委員会で、選定班と養成班の2部構成となっています。

選定班では、市町村からの依頼により自立支援ケア会議やケアプラン点検のアドバイザーを当協会会員から選定し派遣しています。

養成班では、研修のファシリテーターや、自立支援ケア会議のアドバイザー、ケアプラン点検者の養成研修の企画・運営を行っています。今年度からは主任ケアマネ研修ファシリテーター養成研修も初企画し、自己スキルを高めたいケアマネジャーが集まり実践的な指導や助言ができるような研修を行いました。

今年度の活動

- R6.10.19(土)／自立支援型アドバイザー研修会・ケアプラン点検者研修会 参加者 21名
- R6.11. 9(土) 13:30～16:25／実務研修ファシリテーター養成研修 参加者 16名
- R6.12.14(土) 13:00～16:30／専門Ⅰ ファシリテーター養成研修 参加者 14名
- R7. 1.25(土) 13:30～16:30／専門Ⅱ ファシリテーター養成研修 参加者 12名
- R7. 2. 1(土) 13:00～16:00／主任ケアマネ研修ファシリテーター養成研修 参加者 12名



(主任ケアマネ研修ファシリテーター養成研修)



(専門Ⅰ ファシリテーター養成研修)

【職域委員会】 委員長 久世 光洋

職域委員会では居宅・地域包括・施設・地域密着の各部会が専門分野における研修等を開催しています。

(居宅介護支援事業所部会) 部長 光田 奈津子

居宅介護支援事業所部会は令和6年度に新設された特別委員会で利用者に対するサービスの質の向上を目指して活動しています。3/6には「居宅介護支援事業所ケアマネジメント実務の手引き研修」の伝達研修を行いますのでぜひご参加ください。

(地域包括支援センター部会) 部長 西浦 久美子

3月19日。「地域包括支援センターにおける主任介護支援専門員の業務について」伝達研修を開催。20名参加。

(介護保険施設部会) 部長 久世 光洋

施設部会では令和7年1月15日に伝達研修『施設ケアマネジメントの本質を学ぶ』を開催しました。

(地域密着型部会) 部長 伊庭 利光

「小規模多機能型居宅介護におけるケアマネジメント実務の手引き」についてフィードバック研修会を開催しました。同サービスの理解が拡がり、連携促進など相乗効果を期待しています。

令和6年度 一般社団法人 徳島県介護支援専門員協会委員会名簿(特別委員会)

【災害対策委員会】			【職域委員会】		
氏名	役職	所属先	氏名	役職	所属先
中 健太郎	担当副理事長	セントラル介護経営事務所	久世 光洋	委員長	介護老人福祉施設ヴィラ羽ノ浦
伊庭 利光	委員長	社会医療法人芳越会 介護施設事業部	西浦久美子	副委員長	徳島市地域包括支援センター
松本 隆子	副委員長	医療法人道志社 居宅介護支援事業所 小松島リハビリテーションクリニック	光田奈津子	副委員長	社会医療法人凌雲会 昇指定居宅介護支援事業所
鎌田 俊樹	委員	(株)グローバルアシスト	(居宅介護支援事業所部会)		
野口 詠司	委員	徳島市地域包括支援センター	氏名	役職	所属先
中川 陽子	委員	マンナ在宅介護支援ミルトス	中 健太郎	担当副理事長	セントラル介護経営事務所
大森 匡美	委員	平成在宅介護支援センター	光田奈津子	部長	社会医療法人凌雲会 昇指定居宅介護支援事業所
米崎 弘実	委員	介護老人保健施設 阿南名月苑	福本 誠司	副部長	特定非営利活動法人どりーまぁサービス
松畠 栄作	委員	鳴門市地域包括支援センターひだまり	高橋 知之	委員	メディケアプランのぞみ
仁木千恵子	委員	昇指定居宅介護支援事業所	賀喜 友恵	委員	平成在宅介護支援センター

【講師派遣養成委員会】		
氏名	役職	所属先
位頭 薫	担当副理事長	ケアプランセンターゆいまーる
黒田 玲子	委員長	医療法人緑会 あい愛介護相談室
四宮 明子	副委員長	桃居宅介護支援事業所
中東 勢治	委員	社会福祉法人白寿会 白寿会西部
中 健太郎	委員	セントラル介護経営事務所
橋本 美香	委員	徳島県看護協会 指定居宅介護支援事業所徳島
石田 直子	委員	徳島県看護協会 指定居宅介護支援事業所徳島
乾 万里子	委員	無所属
大森 匡美	委員	平成在宅介護支援センター



【職域委員会】		
氏名	役職	所属先
久世 光洋	委員長	介護老人福祉施設ヴィラ羽ノ浦
西浦久美子	副委員長	徳島市地域包括支援センター
光田奈津子	副委員長	社会医療法人凌雲会 昇指定居宅介護支援事業所
(居宅介護支援事業所部会)		
氏名	役職	所属先
中 健太郎	担当副理事長	セントラル介護経営事務所
光田奈津子	部長	社会医療法人凌雲会 昇指定居宅介護支援事業所
福本 誠司	副部長	特定非営利活動法人どりーまぁサービス
高橋 知之	委員	メディケアプランのぞみ
賀喜 友恵	委員	平成在宅介護支援センター
(地域包括支援センター一部会)		
氏名	役職	所属先
湯浅 雅志	担当副理事長	那賀町地域包括支援センター
西浦久美子	部長	徳島市地域包括支援センター
松畠 栄作	副部長	鳴門市地域包括支援センターひだまり
竹内 理恵	委員	海陽町地域包括支援センター
(介護保険施設部会)		
氏名	役職	所属先
中東 勢治	担当副理事長	社会福祉法人白寿会 白寿会西部
久世 光洋	部長	介護老人福祉施設ヴィラ羽ノ浦
四宮 正貴	副部長	介護老人保健施設ライフ慈友館
古川 玲子	委員	社会福祉法人 光風会 特養やまもも荘
貴田 幸伸	委員	特別養護老人ホーム神山すだち園
美馬健一郎	委員	社会福祉法人 緑樹会 おおあさ苑
(地域密着型部会)		
氏名	役職	所属先
橋本 美香	担当副理事長	徳島県看護協会 指定居宅介護支援事業所徳島
伊庭 利光	部長	社会医療法人芳越会 介護施設事業部
西川 珠姫	副部長	あさがお福祉会法人本部
坂口 明美	委員	中谷医院グループホームあいの郷

第7回徳島県介護支援専門員実践研究大会 開催報告

徳島県介護支援専門員協会 副理事長 橋本美香

令和7年3月11日(火)10時より、ときわプラザ2階ときわホールにて、第7回介護支援専門員実践研究大会が開催されました。介護支援専門員一人ひとりが高いプロ意識を持って地域ケアマネジメントや利用者の自立支援に資するケアマネジメントの実践に繋げることを目的とし、「意思決定を支えるケアマネジャーの関わり」をテーマとしました。様々な疾患や環境のなか、最期まで介護支援専門員は利用者に寄り添いながら、意思決定を支え続ける必要があります。今回、兵庫県対人援助研究所 主宰 稲松真人先生を講師にお招きし、午前の部では「利用者に寄り添いながら...とは?~ケアマネジメントと意思決定支援について~」基調講演、そして午後は5名による実践研究発表が行われ、93名の方々の参加がありました。

【午前の部】

稻松真人先生のユーモアにあふれた笑いある講演にて会場全体の緊張感もほぐれ、私たち介護支援専門員の実践でもあるケアマネジメントの基本とする「社会福祉とは?幸せとは?」について心理学の視点から会場参加者に問いかけ、質問を投げかけられたことにより、改めて「その人らしく生きること」の支援の大切さを考える時間となりました。日常の利用者支援を実践していくなかで意思決定支援を行っていても、自分の価値観を押し付けてしまっているのではないかと改めて振り返ることができました。講演内容については、協会会員様限定でアーカイブ配信を行ないました。

【午後の部】

利用者や周囲の関係者どうまく歯車が合わなかったり、利用者の希望が実現困難ではないかと支援の方法に苦慮するなかで視点を変えたり、前向きな捉え方に切り替えたりと丁寧に取り組んだ結果や効果について、5名の方より研究発表が行われました。それぞれの発表が午前の稻松先生の講義内容と重なる部分が多く、より発表者の熱意も伝わる学びの多い研究発表となりました。その後のディスカッションでは荒岡座長の司会進行のもと、今回の発表者の共通姿勢である「傾聴」に着目し、「発表者にとっての傾聴とは?」について稻松先生の巧みな質問や助言により発表者に自然な笑顔や研究に対する正直な想いなどを引き出していたいただき、参加者全体で一体感を感じることができました。

【まとめ】

介護支援専門員として利用者の意思決定を支えていくためには利用者の本音を聞かせていただくことが前提となり、そのために利用者の語る言葉や気持ちに耳を傾け、信頼を構築することが重要であることを再認識することができました。今回の実践研究大会を通じ、参加者自身のケアマネジメントを振り返ることができ、参加者のアンケートからも意思決定支援について改めて考えることができましたなど良かったとの意見が多くありました。介護支援専門員の関わりが利用者支援にどのような影響を与え、どんな効果があるのかについて常に考え、言葉にすることを意識し、第8回につなげていきたいと思います。



(兵庫県対人援助研究所 主宰 稲松 真人氏)



(実践研究発表)

入会のご案内 ~徳島県介護支援専門員協会会員~

- 研修・勉強会・事例検討会へ優先的にご参加いただけます
専門性を高める研修や学びの機会をいち早くご案内します。
- 会員同士のつながりを大切にしています
日々の業務に役立つ情報交換や交流を通じて、連携の輪が広がります。
- 施設見学会や県内の役立つ情報を届けします
地域の現場を知る機会や、仕事に活かせる情報が得られます。
- 研修会のアーカイブ配信を会員限定で公開しています
当日参加できなかった方も、後からゆっくり視聴できます。

一般社団法人徳島県介護支援専門員協会への入会には一般社団法人日本介護支援専門員協会への入会が必要となります。入会は、当協会のホームページからお申し込みいただけます。

【入会のお申込みはこちら】

[https://www.jcma.or.jp/
/?page_id=27](https://www.jcma.or.jp/?page_id=27)



徳島県介護支援専門員協会 正会員	入会金	1,000 円
	年会費	3,000 円

日本介護支援専門員協会 正会員	入会金	1,000 円
	年会費	5,000 円

ホームページのご案内

研修情報・各種お知らせ・事業内容など、詳細はホームページにて掲載しています。

ご不明点や資料ダウンロードも、こちらからどうぞ。

【ホームページはこちら】

<https://www.cma-tokushima.com/>



一般社団法人 徳島県介護支援専門員協会
〒770-0866 徳島県徳島市本成2丁目1番80号
TEL.088-678-4200 FAX.088-611-7035

[TOP](#) [理事長あいさつ](#) [役員名簿](#) [活動内容](#) [協会規約](#) [設立趣旨](#) [入会の案内](#) [相談窓口](#)

[会員登録](#) [リンク](#) [協会ニュース](#) [お問い合わせ](#) [facebook](#) [会員ログイン](#)

Facebookページのご案内

介護支援専門員協会の支援活動や現場の取り組みを、

Facebookで発信しております。

研修の様子や日常の一コマなど、ぜひご覧ください。

【Facebookページはこちら】

[https://www.facebook.com/
TokushimaCaremanager/](https://www.facebook.com/TokushimaCaremanager/)



一般社団法人 徳島県介護支援専門員協会
いいね! 1448人 フォロー 168人

**令和6年度
一般社団法人 徳島県介護支援専門員協会 顧問・役員**

(1) 顧 問

役 職	氏 名	職 種	所 属
最高顧問	武 久 洋 三	医 師	医療法人平成博愛会 博愛記念病院
顧 問	津 田 祐 子	看 護 師	元四国大学教授

(2) 理 事

区 分	役 職	氏 名	職 種	所 属
本 部	理 事 長	山 口 浩 志	社会福祉士	特定非営利活動法人どりーまぁサービス
本 部	副理事長	中 東 勢 治	介護福祉士	社会福祉法人白寿会 白寿会西部
本 部	副理事長	位 頭 薫	歯科衛生士	特定非営利活動法人ゆいまーる ケアプランセンターゆいまーる
本 部	副理事長	中 健太郎	介護福祉士	セントラル介護経営事務所
本 部	副理事長	湯 浅 雅 志	社会福祉士	那賀町地域包括支援センター
本 部	副理事長	橋 本 美 香	看 護 師	公益社団法人徳島県看護協会 指定居宅介護支援事業所徳島
徳島県慢性期 医療協会	特別理事	保 岡 正 治	医 師	徳島県慢性期医療協会
県歯科医師会	特別理事	佐 藤 修 斎	歯 科 医 師	一般社団法人徳島県歯科医師会
県 医 師 会	特別理事	中 谷 哲 也	医 師	一般社団法人徳島県医師会
県 看 護 協 会	特別理事	鈴 木 察 子	看 護 師	公益社団法人徳島県看護協会
県理学療法士会	特別理事	鶯 春 夫	理学療法士	公益社団法人徳島県理学療法士会
東 部	理 事	福 本 誠 司	社会福祉主事	特定非営利活動法人どりーまぁサービス
東 部	理 事	河 野 竹 美	介護福祉士	すだちの園 指定居宅介護支援事業所
東 部	理 事	西 浦 久美子	社会福祉士	徳島市地域包括支援センター
北 部	理 事	黒 田 玲 子	介護福祉士	医療法人緑会 あい愛介護相談室
北 部	理 事	光 田 奈津子	介護福祉士	昴指定居宅介護支援事業所
北 部	理 事	四 宮 明 子	介護福祉士	株式会社 quattro 梶居宅介護支援事業所
南 部	理 事	久 世 光 洋	社会福祉主事	介護老人福祉施設 ヴィラ羽ノ浦
南 部	理 事	松 本 隆 子	看 護 師	医療法人道志社 居宅介護支援事業所 小松島リハビリテーションクリニック
南 部	理 事	四 宮 正 貴	作業療法士	介護老人保健施設ライフ慈友館
西 部	理 事	伊 庭 利 光	介護福祉士	社会医療法人芳越会 介護施設事業部
西 部	理 事	荒 岡 晶 子	社会福祉士	合同会社はちどり

(3) 監 事

役 職	氏 名	職 種	所 属
監 事	松 本 正 子	保 健 師	元徳島県介護支援専門員協会事務局長
監 事	東 條 喜代美	看 護 師	一般社団法人徳島市医師会 居宅介護サービスセンター

問い合わせ先

一般社団法人徳島県介護支援専門員協会 〒770-0866 徳島県徳島市末広2丁目1番80号
TEL 088(678)4200 FAX 088(611)7035 E-mail : info@cma-tokushima.com